

【施策評価調査】

施策名	2-3-3	障害者元気プランの策定と運用		90	施策目的 障害者が地域で自立した生活が送れるよう 障害児者の活動拠点となる施設を確保し、社会参加を促進します。 電話や来所、訪問による相談及びその後の継続的なフォローを行います。 障害者の自立と社会参加及び介護者を支援するための体制づくりを構築します。 一時預かりによる障害児の安全確保、集団生活による自立促進を図ります。 個々にライフステージに応じた支援体制を整備します。 当施策は、 の観点から障害者元気プランに基づき、効果的な運用を図っていきます。
	高根沢町地域経営計画2006 該当ページ				
担当部署	住民生活部健康福祉課	担当	社会福祉担当		施策内容 支援費制度の創設、障害者自立支援法案による改革のグランドデザイン案など、障害者を取り巻く 仕組みが大きく急激に変化しています。障害者福祉に関する制度変更を踏まえた障害者福祉計画 を平成18年度に策定します。この計画には、国が定める制度的確な実施、障害福祉に関する理 念、そして、町の進むべき方向性などを盛り込むこととし、策定会議を設けて十分な議論と検討を行 います。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)
		リーダー	赤羽 一夫		
環境変化	障害者及びその介護者の高齢化・核家族化が増加の傾向にあります。 これに伴い、日中活動系福祉サービスに対するニーズが一層高まってきています。身近な ところで生涯にわたって一貫したサービスが利用できるよう、介護保険事業所と連携を図り、 障害福祉サービスを充実させることが必要となっています。				

指標

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：障害者福祉計画の策定	平成17年度	計画	策定	0	協議会設置		
	未策定	実績	策定	0	協議会設置		
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	2,477,000	0	502,000	96,750	
決算	1,363,150	0	138,000			

事務事業事前評価 22年度の組立て

施策傘下事務事業	事業費	活動指標(アウトプット)	事業の実施によって、施策達成にどう貢献しますか？(アウトカム)
自立支援協議会運営事業費	H21 現計 96,750	障害者計画の見直し完了の有無	平成18年度に「障害者元気プラン」を策定したが、その中の「障害者計画」部分は計画期間が5年であることから、平成22年に見直しを実施する。アンケートを行う予定。 策定年度だけではなく、毎年会議を実施することによって、検証作業が容易に行えるようになっている。
	H22 計画 1,654,220		
	H21 現計		
	H22 計画		
	H21 現計		
	H22 計画		
	H21 現計		
	H22 計画		
	H21 現計		
	H22 計画		
	H21 現計		
	H22 計画		

施策事前評価 22年度の組立て

自己評価	後期計画に向けた施策展開のビジョン		H22年度の狙い
	今後の方向性	事業進捗の検証とあわせ、計画策定と見直しを行っていく。	
現状水準維持			
総合評価	総合評価		
	町民のみなさんと一緒になって、きめ細やかな運用を行っていくという姿勢を評価するが、検証方法、事業への反映方法など、仕組みについては整理すること。 また、後期計画に向けて、事務に係る職員負荷についても考慮の上、実効性のある仕組み、施策展開を検討するとともに、指標の見直しを行うこと。		